セット品番
AL800
家庭用

販売名：ビルトインアルカリ整水器 D01

クリンスイ 据付説明書

給水一次側配管との接続および検査は管工事業者に依頼してください。
器具をシステムキッチンに取り付ける作業は、システムキッチン取付設置業者で実施することができます。

●据付される方へお願い
この器具を安全に正しく設置いただくために、「据付説明書」を必ずお読みください。

1．安全上の注意

ここに示した安全上の注意事項は、お守りいただかない場合、重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

●次の表示は、表示内容をお守りいただかず、誤った取り扱いをした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度を示しています。
⚠ 注意	軽傷を負ったり、周辺の家財に損害を与える可能性のある内容を表します。

●次の表示区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	してはいけない『禁止』内容を表します。
分解禁止	本器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性を表します。
ぬれ手禁止	本器をぬれた手で扱うと感電する可能性を表します。
指示	必ずしてほしい『指示』内容を表します。

⚠ 警告

禁止

●コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100Ｖ以外での使用はしない。
火災、感電、故障の原因になります。

●電源コード・電源プラグが損傷するようなことやコードの延長はしない。
・ステープル（ ⊓ ）などで固定する　・傷付ける　・加工する　・無理に曲げる
・ねじる　・引っ張る　・熱器具に近づける　・重いものを載せる　・束ねる
・挟み込むなどをしない。傷んだまま使用すると、感電、ショート、火災の原因になります。
※電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを持たずに電源プラグを持って抜く。

三菱ケミカル・クリンスイ株式会社

製品に関するお問い合わせは下記までお願いします

クリンスイサービスセンターＵ係
0120-328-432
受付時間／平日10：00～17：00(土・日・祝日10：00～16：00)

© MITSUBISHI CHEMICAL CLEANSUI CORPORATION 2021-2024

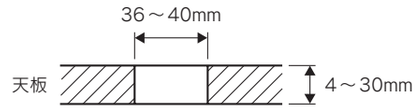
⚠警告

分解禁止	**●本器の改造、分解、修理はしない。** 火災、感電、故障の原因になります。
ぬれ手禁止	**●濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない。** 感電の原因になります。
指示	**●電気工事、水道工事は、関連する法令・規定に従い、必ず「有資格者」が行う。**
	●電源プラグはコンセントに根元まで差し込む。 差し込みが不十分だと、感電や発熱による火災の原因になります。
	●電源コードは、引き出しのレールや、扉に挟まれないように配線する。 コードが断線したり、損傷して、感電、ショート火災の原因になります。

⚠注意

禁止	**●製品に強い力や衝撃を与えない。** 破損して水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります。
	●浄水カートリッジを落としたり、強い力や衝撃を与えない。 破損・変形し、十分な性能を発揮できなくなるおそれがあります。
	●ホース・配管は加工したり専用品以外を使用しない。 破損して水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります。
	●天板や、シンク（キャビネット内）に穴を開けるときは、屋内配管に傷をつけない。 水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります。
	●凍結のおそれがある場所には設置しない。 アルカリ整水器本体、浄水カートリッジ等が凍結割れ等で水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります。
	●ホース類を、折り曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。 水漏れにより家財などを濡らしたり適切なpHが得られないおそれがあります。
	●アルカリ整水器専用水栓の先に他の機器を接続しない。 機器の故障や水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります。
	●先止め方式の配管に改造しない。 水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります。
	●機器に接続するフレキ管は新しいフレキ管を用いる必要があります。 移設時等に古いフレキ管は再利用しないでください。 機器の故障や水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります。

⚠注意

指示	**●水道水の水質基準に適合した水を使用する。** **温泉水・井戸水など異物を多く含む水には使用しない。** 体調を損なったり、適切なpHが得られないおそれがあります。
	●ホーロー、天然石のシンク天板に穴を開ける場合は、キッチンメーカーに相談する。 カウンターの適合穴径は36～40mm、天板厚は4～30mmです。 無理に穴を開けて取り付けると、家財を傷付けるおそれがあります。 
	●止水栓取付箇所や給水・給湯管との接続箇所は、点検しやすい状態にする。 点検ができないと万一漏水発生時には発見が遅れて家財などを濡らすおそれがあります。
	●配管工事はすべて建築基準法、水道法、各地域の条例に準じて行う。
	●コンセントの設置は、電気設備技術基準や内線規程に従い、確実に行う。 誤った電気工事は、火災や感電の原因になります。
	●設置は、この据付説明書に従って、確実に行う。 設置に不備があると、火災・感電・事故の原因になります。
	●必ず同梱の各部品をセットして使用する。 部品をセットし忘れたり純正以外の部品を使用すると水漏れの原因となり、家財などを濡らすおそれがあります。
	●一次給水側は、特に水漏れがないように確実に接続する。 水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります。
	●本器は、アルカリ整水器本体・浄水カートリッジ・付属の水栓および設置部材をセットで使用する。 水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります。
	●アルカリ整水器本体は平らな場所に設置する。 不安定な場所に設置すると、転倒等で水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります。
	●配管は、水漏れのないよう確実に行う。 **特に固定金具（クイックファスナー）などは、確実に取り付ける。** 確実に接続されていないと、水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります。

2．給水条件

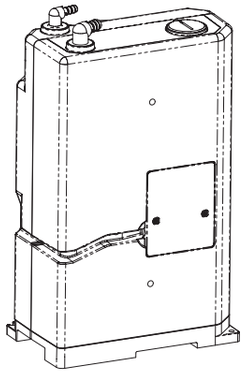
本器具の使用可能給水圧力（静水圧）は0.75MPa以下、常用使用圧力（動水圧）は0.07～0.35MPaです。

⚠ **給水圧力（動水圧）が設置条件0.35MPaを超える場合、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。**

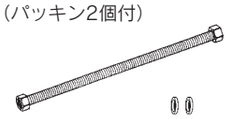
3．梱包部品

最初に下記部品がそろっているかご確認ください。

アルカリ整水器本体　1台

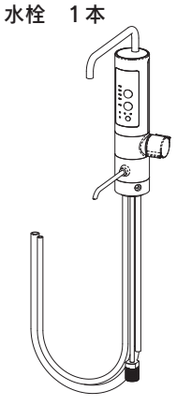


フレキ管　1本
（パッキン2個付）

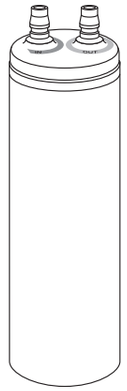


スプリング　1本

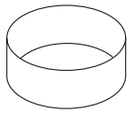
アルカリ整水器専用
水栓　1本



浄水カートリッジ
1個
(UHC3000)



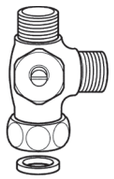
カートリッジ受皿
1個
（両面テープ付）



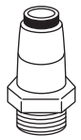
上面施工金具
（AL用）　1個

水栓の付属品
六角レンチ（4mm）
キャップ（2個）
取付ネジ（1本）

止水機構付分岐栓
※（パッキン1個付）

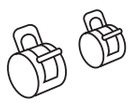


銅管カプラー
1個



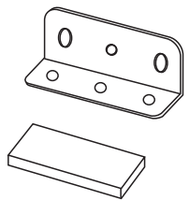
クイックファスナー
（AL用）　1個

ホースバンド
（大:1個　小:1個）

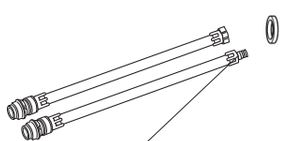


アルカリ整水器本体
取付用ビス　4本

L字固定金具　1個
両面テープ　1枚



IN側･OUT側ホース（AL用）
各1本（パッキン1個付）



（OUT側ホースOリング2個付）

pH測定液セット

pH測定液
pH比色紙表
専用コップ

説明書入り袋　1式

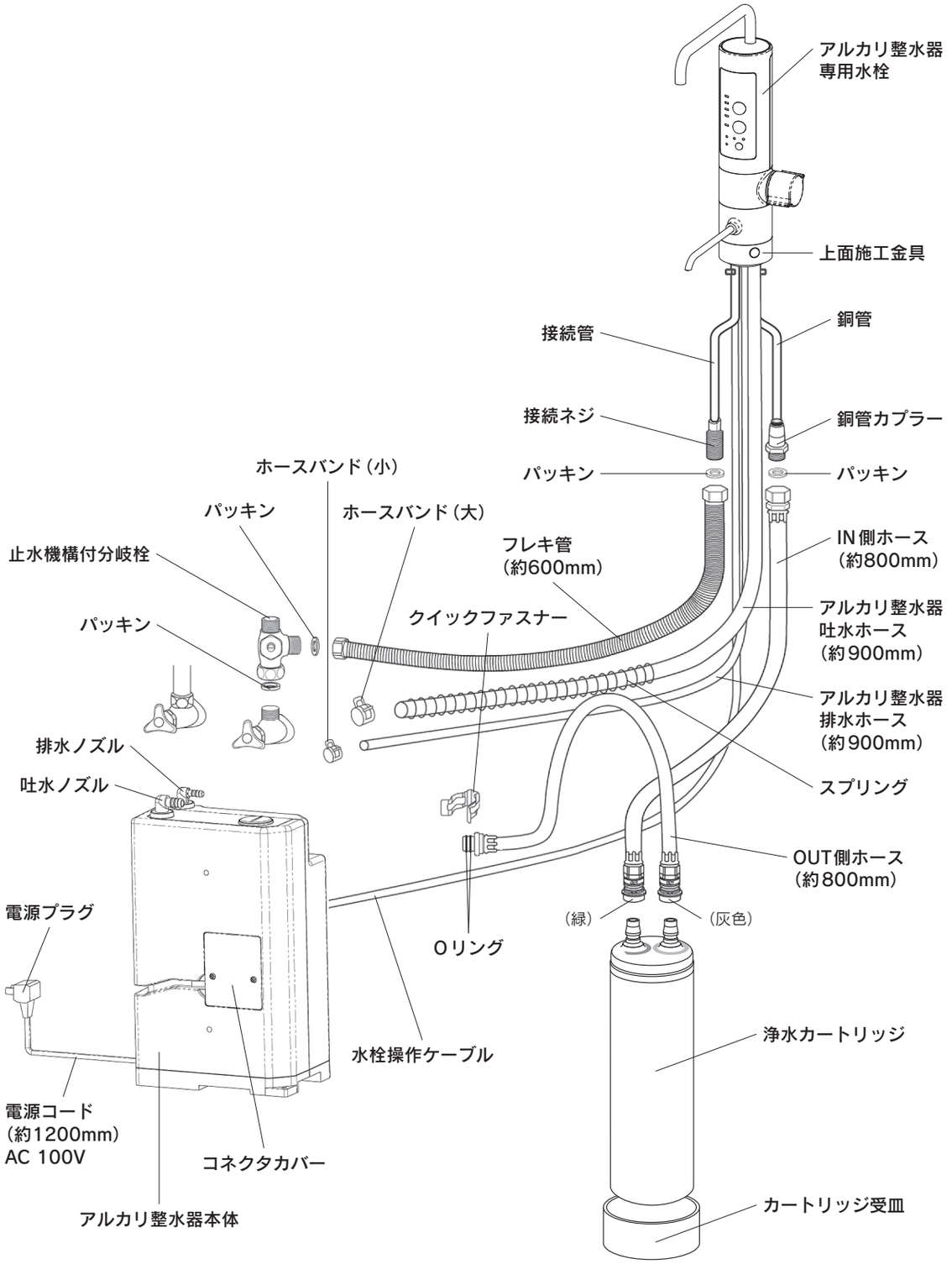
- 取扱説明書（保証規定付き）
- 据付説明書
- 設置用台紙
- 保護シール
- 結束バンド
- 防虫シート

配線後、貫通穴を防虫シートで塞いでください

4．付属品配置図

※管工事業者に依頼してください。

●各付属部品を使用する位置を確認してください。



5．器具の据付

※管工事業者に依頼してください。

キッチンのキャビネット内または配管スペースに、本体電源用のコンセント（AC100V）が必要です。

5-1．据付場所の選定

■シンク上

●水栓本体は障害物がなくレバーハンドル操作スペースが確保できる場所に設置してください。

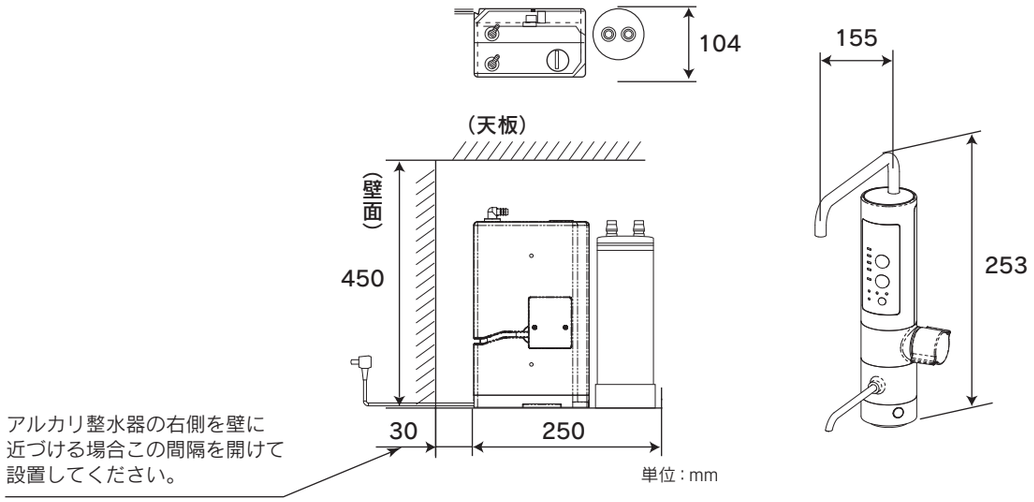
■シンク下

●水栓全体、浄水カートリッジ、止水機構付分岐栓の各々がフレキ管、IN側・OUT側ホースで接続できる場所に設置してください。

●各部材は、既設の配管にぶつからない場所に設置してください。

●浄水カートリッジは、手前に引き出して簡単に交換できる場所に設置してください。

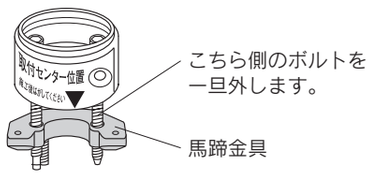
●各部材は、既設の配管にぶつからない場所に設置してください。
浄水カートリッジの交換、カルシウム添加が容易にできるスペースを考慮してください。
（浄水カートリッジの交換、カルシウム添加を容易に行うためには、最低でも下図のスペースが必要です）



●ビスや両面テープで、カートリッジ受皿およびアルカリ整水器本体を十分に支えられる場所に設置してください。

5-2．アルカリ整水器専用水栓の据付

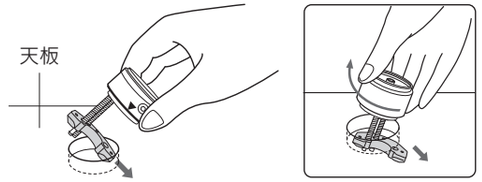
①上面施工金具のボルトを片側のみ外します。



②上面施工金具を天板の穴に差し込む。

●馬蹄金具を天板の取付穴に入れます。

●入りにくいときは、上面施工金具を右にひねりながら挿入します。



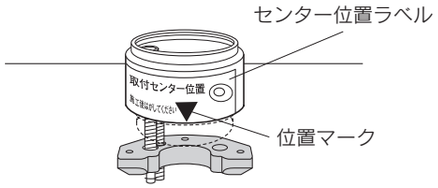
③位置を合わせる。

●図のようにセンター位置ラベルの「▼」マークが正面にくるように取り付けます。

●天板とのすき間がないように上面施工金具を穴の中心に合わせてください。

⚠注意

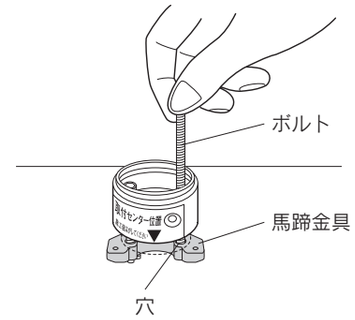
●天板とのすき間がないことを確認してください。
（ガタツキ、水のしみ込みの原因になります）



④取りはずしたボルトを差し込む。

●①で取り外したボルトを本体の穴に差し込みます。

●まっすぐに差し込み、馬蹄金具の穴に入れてください。



⑤ボルトを締め付けます。

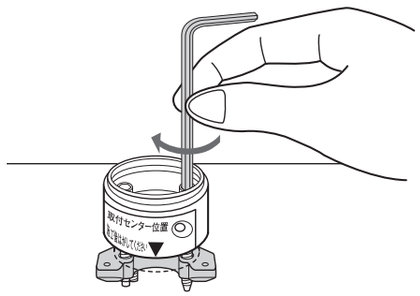
●差し込んだボルトを付属の六角レンチを使って締め付け、もう一方のボルトも同様に締め付けます。

※天板とのすき間がないように上面施工金具を天板の穴の中心に合わせながらボルトを締め付けてください。

※馬蹄金具が途中までしか上がらないときは、ボルトを交互に締め付けてください。

⚠注意

●逆回転しないでください。
（固定具が破損し取り付けられないことがあります）



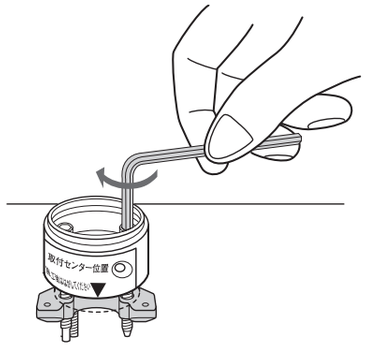
⑥六角レンチを使って、2本のボルトを増し締めします。

●締め付けトルクの目安は5N・mです。

※電動ドライバーは、使用しないでください。

⚠注意

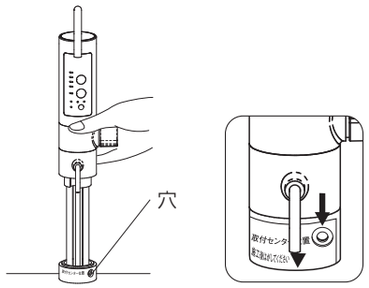
●しっかりと締めてください。
（水栓のガタツキや水のしみ込みの原因になります）



⑦アルカリ整水器専用水栓を上面施工金具に差し込みます。

- 水栓と上面施工金具の穴が合っていることを確認してください。

※穴が合っていないと取付ネジが入りません。

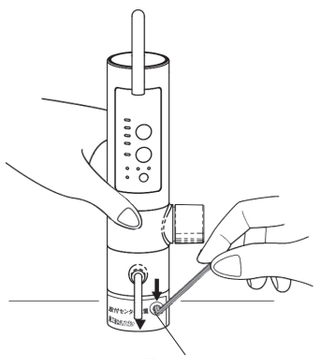


⑧アルカリ整水器専用水栓を固定します。

- 水栓が浮いていないことを確認して、しっかりと締め付け、水栓がガタつかないことを確認します。
- 水栓を押さえながら本体止めネジを締め付けます。
- 締め付けトルクの目安は5N・mです。

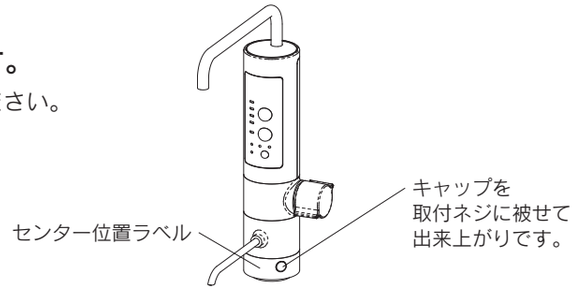
⚠注意

- 水栓がガタつかないことを確認してください。
（故障、水栓のガタツキや水のしみ込みの原因になります）



⑨キャップを取り付けて完了です。

- センター位置ラベルは、はがしてください。



5-3. 配管の接続

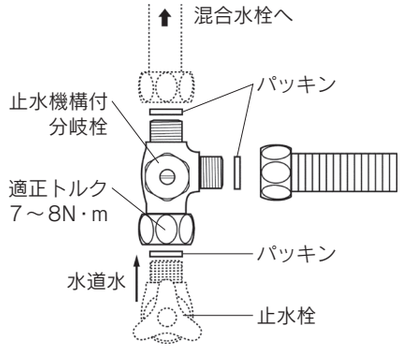
①給水側止水栓を閉めます。

②止水栓に止水機構付分岐栓を取り付けます。

（スパナで確実に取付けてください。適正トルク7～8N・m）

⚠注意

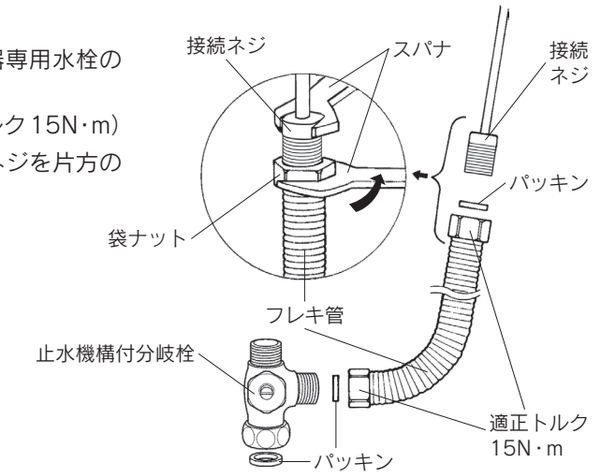
- パッキンを確実に挿入してください。
（パッキンが挿入されていないと水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります）
- 一次給水側は、水漏れのないように確実に接続してください。
（水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります）



③フレキ管を接続します。

- フレキ管を止水機構付分岐栓とアルカリ整水器専用水栓の接続管のネジに取り付けます。
（スパナで確実に取り付けてください。適正トルク15N・m）

※袋ナットを取り付けるときは、接続管の接続ネジを片方のスパナで十分に支えて、締め付けてください。



⚠注意

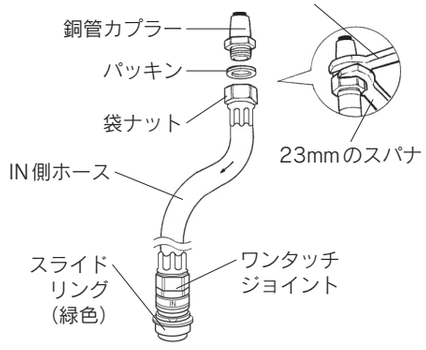
- 給湯配管には、接続しない。
（故障の原因になります）
- フレキ管の曲げ半径を60mm以上にする。
（水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります）
- フレキ管の同じ場所を何度も曲げない。
（水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります）
- パッキンを確実に挿入してください。
（パッキンが挿入されていないと水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります）
- 一次給水側は、水漏れのないように確実に接続してください。
（水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります）

④IN側ホースの袋ナットにパッキンを挿入し、銅管カプラーを取り付けます。

（スパナで確実に取付けてください。適正トルク7～8N・m）

⚠注意

- パッキンを確実に挿入してください。
（パッキンが挿入されていないと水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります）
- ホース取り付け後、しっかり接続されていることを確認してください。
（水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります）



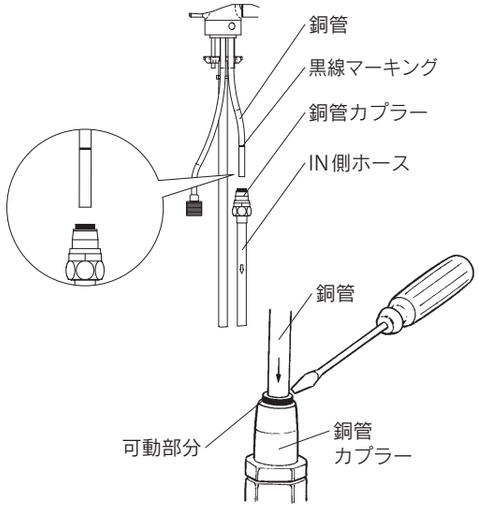
⑤アルカリ整水器専用水栓の銅管にIN側ホースを接続します。

- IN側ホースを銅管に突き当たるまで差し込みます。

※誤接続をした場合、カプラー先端の可動部分をドライバー等で下に押し下げて外し、もう一度、同じ要領で接続してください。

⚠注意

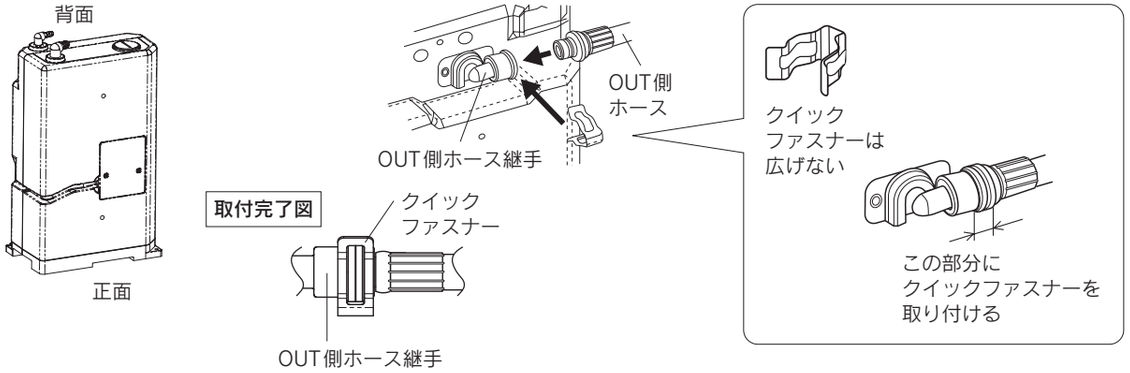
- 銅管カプラーの差し込みは、突き当たるまで確実に行ってください。
（水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります）
- 銅管の切断はしないでください。
（水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります）



⑥アルカリ整水器本体の背面へOUT側ホースを接続します。

（接続後はホースを引っ張って抜けないことを確認してください）

※クイックファスナーは必ずアルカリ整水器本体の背面からOUT側ホースと継手に取り付けてください。



⚠注意

- OUT側ホースは最後まで差し込み、クイックファスナーを確実に取り付ける。
- OUT側ホースは、先端のOリングがねじれないように差し込んでください。
（水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります）
- OUT側ホースは継手に負担がかからないようOUT側ホースを接続してください。
（水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります）

5-4. アルカリ整水器本体の据付

アルカリ整水器本体は付属の取付用ビスで固定するか、付属のL字固定金具でズレ防止を行います。

<アルカリ整水器本体を取付用ビスで直接固定する場合>

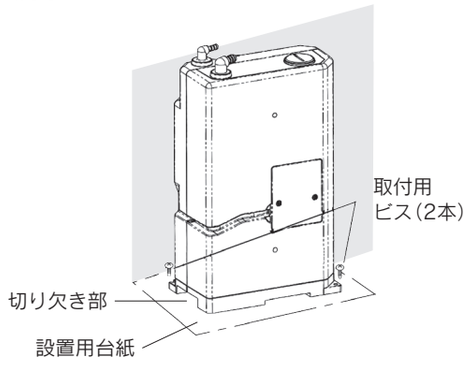
①アルカリ整水器本体の設置場所を決め、付属の取付用ビスで固定します。

- ビス穴の位置は付属の設置用台紙を使用して穴位置を決定してください。

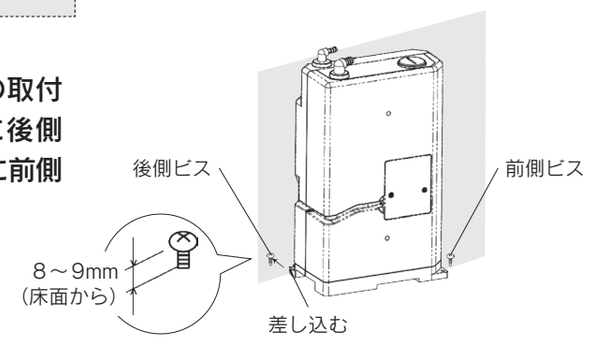
※電源コードは本体と床の間で噛みこまないよう、本体側面下部の切り欠き部から引き出してください。

⚠注意

- 吐水ホース、排水ホースの接続、OUT側ホースの接続の際、吐水ノズル、排水ノズルに負荷がかからない位置に設置してください。
（水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります）



②アルカリ整水器を設置した状態で後側の取付用ビスを締め付けできない場合は、先に後側の取付用ビスを締め、本体を差し込み、次に前側を固定します。



<アルカリ整水器本体をL字固定金具で固定する場合>

■L字固定金具をアルカリ整水器本体の外に出す場合（前面にL字固定金具取付スペースがあるとき）

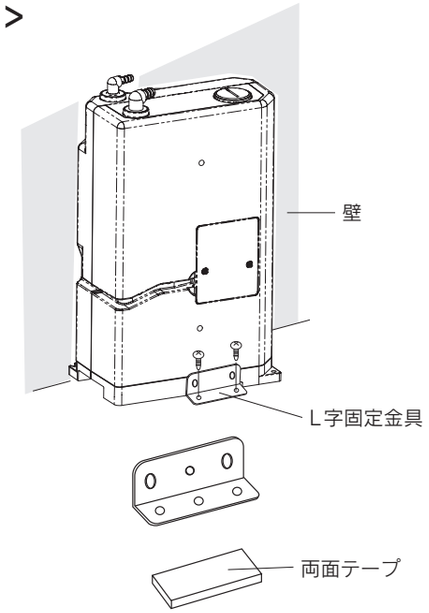
①アルカリ整水器本体を壁面にあてます。

⚠注意

- 吐水ホース、排水ホースの接続、OUT側ホースの接続の際、吐水ノズル、排水ノズルに負荷がかからない位置に設置してください。
（水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります）

②前面にL字固定金具があたるように取付用ビスで固定します。

- 取付面が、ホーローなどの場合は両面テープで床に固定してください。



■L字固定金具をアルカリ整水器本体の下に入れ込む場合（前面にL字固定金具取付スペースがないとき）

①アルカリ整水器本体を壁面にあてます。

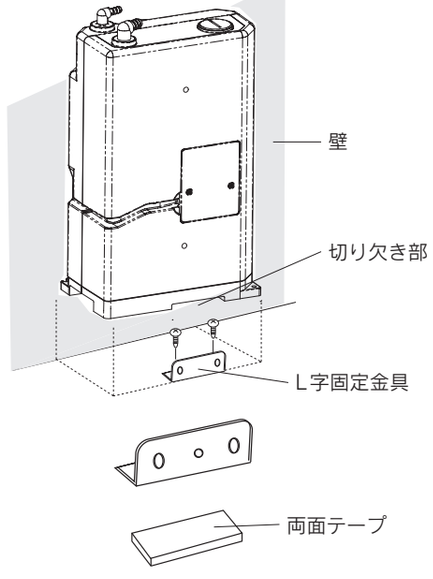
⚠注意

- 吐水ホース、排水ホースの接続、OUT側ホースの接続の際、吐水ノズル、排水ノズルに負荷がかからない位置に設置してください。
（水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります）

②L字固定金具が当たるように取付用ビスで固定します。

- 取付面が、ホーローなどの場合は両面テープで床に固定してください。

③アルカリ整水器本体の切り欠き部にL字固定金具を合わせて、本体を設置します。

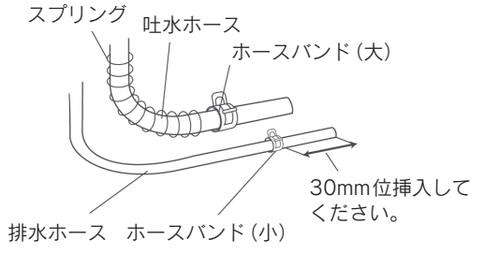


5-5. 吐水ホース・排水ホースの接続

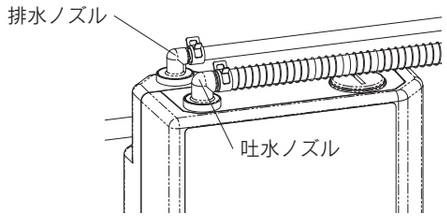
①アルカリ整水器専用水栓の吐水ホースにスプリングを挿入します。

②アルカリ整水器専用水栓の吐水ホース、排水ホースに付属のホースバンドを挿入します。

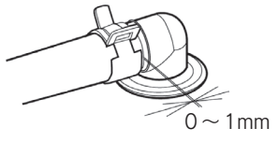
- ホースバンドは（大）（小）の２種類があります。



③アルカリ整水器本体の吐水ノズルと排水ノズルに各ホースを接続し、ホースバンドで固定します。ホースを引き出す向きに合わせて、あらかじめ吐水口と排水口の向きを合わせてから、ホースを接続してください。



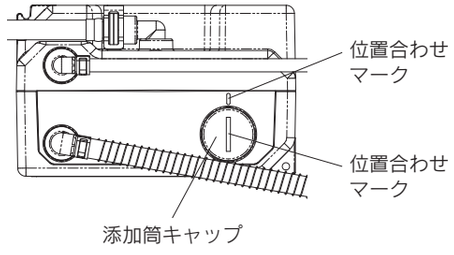
※各ホースは下図のように確実に接続してください。
ホースは奥にあたるまで挿入します。



⚠注意

- ホースは折り曲げたり、ねじったりしない。（水漏れや適切なpH値が得られない原因になります）
- ホースバンドは必ず取り付ける。（水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります）
- 吐水ノズル、排水ノズルに負荷がかからないよう接続してください。（水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります）

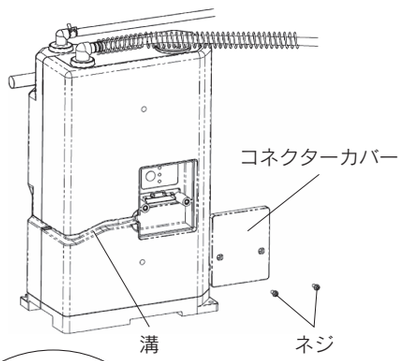
※添加筒キャップと本体の位置合わせマークの位置を確認してください。
位置合わせマークがずれている場合は、コイン等で、キャップを指定の位置まで回して合わせます。



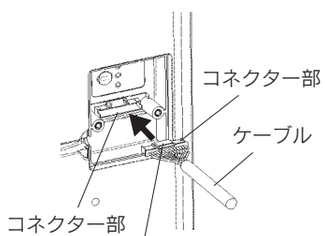
5-6. 水栓操作ケーブルの接続

①アルカリ整水器正面のネジを外し、コネクターカバーを取り外します。

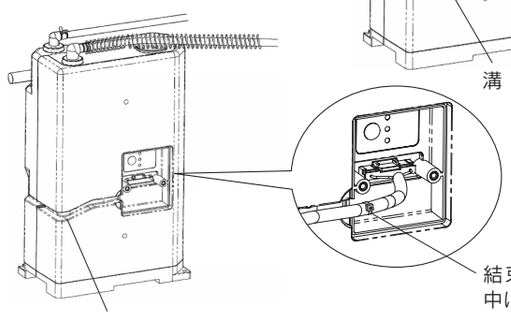
※取り外したコネクターカバー、ネジをなくさないように注意してください。



②水栓操作ケーブルを接続し、配線します。



コネクターの爪を上にしてピンを折り曲げないようにして奥まで差し込みます。
差し込んだ後、ケーブルの根元を持ち軽く引っ張り抜けないことを確認してください。



ケーブルを溝に差し込みアルカリ整水器の後ろへ配線します。
※ケーブルがアルカリ整水器本体正面から飛び出さないよう確実に溝に差し込んでください。

⚠注意

- コネクター部を逆にしたり、無理に差し込まない。（コネクターピンが破損する原因になります）

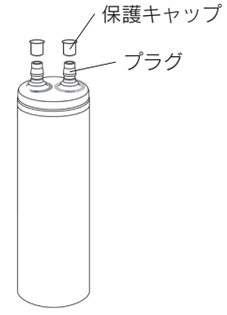
③コネクタカバーを取り付け、ネジを締め付け固定します。

5-7. 浄水カートリッジの据付

①カートリッジ受皿を設置します。

- カートリッジ受皿の裏面の保護紙をはがし、床にしっかりと押さえ付けます。（床の油分、水分、ほこりをよく除去してください）

②浄水カートリッジのプラグ先端の保護キャップを外します。

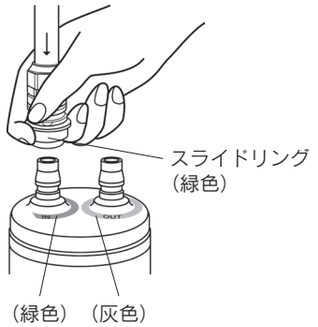


③IN側･OUT側ホースのワンタッチジョイントを浄水カートリッジのプラグに接続します。浄水カートリッジの緑色、灰色のシールとスライドリングの色を合わせて接続してください。

※接続は、必ず（緑色）→（灰色）の順番をお守りください。
（取り外しは、（灰色）→（緑色）の順番です）

⚠注意

- ワンタッチジョイントの接続はプラグが奥まで差し込まれているか、正しく接続されているか、再度確認してください。（変形や破損の原因になり、水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります。IN側・OUT側ホースを間違って接続した場合、黒い水［活性炭］が出たり破損や水漏れの原因になります）



④カートリッジ受皿に浄水カートリッジを入れます。

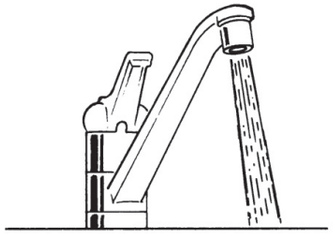
※ホースは必要に応じて結束バンドで固定してください。
ただしバンドは締めすぎないように注意してください。

⚠注意

- 浄水カートリッジを固定する際は、ホースが折れ曲がったりねじれたりしないようにしてください。
  またホースや浄水カートリッジが給湯配管に触れないようにしてください。（変形や破損の原因になり、水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります）

6．据付後の点検

①止水栓を開きます。

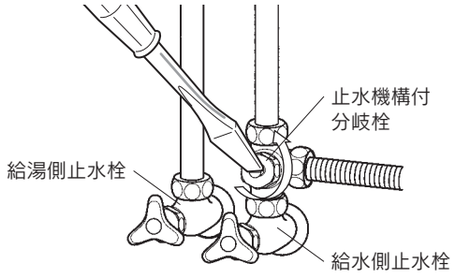


②既設の水栓から水を十分に流します。

⚠注意

- 工事後すぐに本器には水を流さないでください。
  （浄水カートリッジの早期目詰まりの原因になります）

③アルカリ整水器側の止水機構付分岐栓を開きます。



④電源プラグを差し込みます。

⑤モードランプを確認します。
浄水モードランプ（緑）、カートリッジ交換ランプ（緑）が点灯していることを確認します。
下記の手順で飲用ボタン、酸性ボタンを押し、選択したモードランプが点灯するか確認してください。（飲用は緑色、酸性は赤色）

- 飲用ボタンを押す。
- (飲用)（アルカリ１点灯）→(飲用)（アルカリ２点灯）→(飲用)（アルカリ３点灯）→(飲用)浄水→(飲用)（アルカリ１点灯）
  また、モードボタンを押したときに、ブザーが「ピッ」と鳴るか確認してください。
- 酸性ボタンを押す。
  (酸性)（酸性点灯）→(酸性)（酸性点灯）
- 操作パネルのランプが点灯せず、ブザーが鳴り続ける場合には、交流100V以外の電源に接続されています。電源プラグをコンセントから抜き、コンセントの電圧を確認してください。
- 操作パネルのランプが全く点灯しない場合には、次のことを確認してください。
  ・電源プラグがコンセントから抜けていませんか。
  ・水栓操作ケーブルは、確実に接続されていますか。
- 操作パネルのスイッチ操作ができない、または異常がある場合には、水栓操作ケーブルが確実に接続されていることを確認してください。

⑥(飲用)ボタンを押し、アルカリ１を選択し、レバーハンドルをゆっくり開き、浄水カートリッジ、アルカリ整水器本体へ通水します。

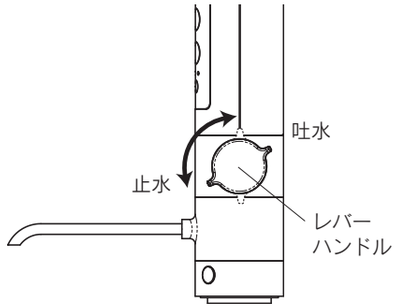
- 吐水管、排水管から水が出ていることを確認してください。
  （浄水時は、排水管からは水が出ません。また、通水量が少ないときも排水管から水が出ません）

※通水開始時に空気が出るので、レバーハンドルはゆっくり開けてください。

⑦配管各部の水漏れがないことを確認します。

※レバーハンドルの開閉操作を繰り返し行って、水漏れが無いことを確認してください。

- 配管から水漏れしている場合には、各配管、ホースには指定のパッキン、ホースバンドクイックファスナーが確実に取り付けられていることを確認してください。

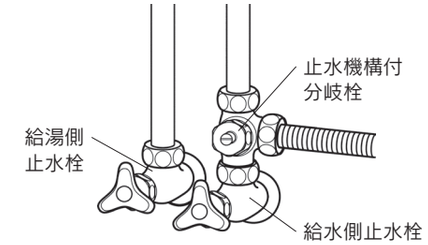


⑧流量の調整をします。

- 設置条件を確認の上、レバーハンドル全開で適量な水量が得られるよう止水機構付分岐栓で調整します。

※吐水管から約3L/分の水量が、得られるよう調整してください。

- 吐水口や排水口から水が出ない。または、水量が少ない場合には、次のことを確認してください。
  ・各ホースが折れ曲がっていませんか。
  ・アルカリ整水器専用水栓のレバーハンドルは全開になっていますか。
  ・止水栓を絞りすぎていませんか。



7．最終点検

- □ **配管内のゴミを流しましたか？**
- □ **水漏れはないですか？**
- □ **流量は適切ですか？**
- □ **水栓本体は確実に締め付けられていますか？**
- □ **各モードランプは適正に表示しますか？**
- □ **この据付説明書は「取扱説明書」、「保証書」、「pH測定液」等とともにお客様にお渡しして、大切に保管していただくように説明してください。手渡しできない場合、据付終了後、製品の近くに置いてください。**